

2016年4月17日(日)朝10:10～
4月第3共同主日礼拝式説教

復活節第4、側溝清掃等
日本アライアンス庄原基督教会

説教題：主の使徒たちのことばを 思い出せ

聖書:ユダ 全1章14～19節

＜口語訳＞

新約聖書384～385頁

ユダ 全1章14～19節

＜新共同訳＞

新約聖書451頁

ユダ 全1章14～19節

＜新改訳第3版＞

新約聖書475頁

ユダ 全1章14～19節＜塚本訳＞

新約聖書774～775頁

主題:主イエス様から賜った聖霊の導き

によって主の弟子たちは、主の名による
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

- ◇ユダ書は、エルサレム教会の議長ヤコブの弟ユダが、教会の人々を迷わせた偽教師、偽指導者に迷わされないよう、警告を与えた書簡です。
 - ◇ユダ書全1章5～13節は、3～4節の偽教師の忍び込みの提示と神信仰を持つての偽教師との戦いの勧めに対し、旧約聖書に登場した神に対して「不敬虔ἀσεβής」な人々を実例として提示して警告しています。
 - ◇ユダ書1章14～19節は、偽教師の誘惑と戦うことを勧めている箇所です。最初の人、アダムから7代目のエノクが、「不敬虔ἀσεβής」な人々(偽教師)の登場を預言していたことを告げつつ、ユダは、エノクのように、「不敬虔ἀσεβής」な人々(偽教師)の登場を予告し、警戒をしたように、神の御子イエス・キリスト様のみことばを思い出すように求めています。
- ⇒「不敬虔ἀσεβής」な人々(偽教師)は、「神に逆らう」ので、神のさばきを回避できませんが、神信仰に生きる人々は、神の御子イエス・キリスト様の使徒のことばに生きれます。

本論；

◇本日、ユダ書全1章14～19節から主の使信に思い・心をとめます。

◆ユダ全1章14～16節；ユダは、エノクの警告のことばを思い出し、肉欲中心の生活者なる偽教師の誘惑に警戒するように、語ります。

◇14～16節；塚本訳◆エノクも預言者せり——外典の預言

「14 しかし(少しも不思議はない。)彼らについてもアダムから七代目のエノクが預言して言った——見よ、『主はその聖なる千万の軍勢と共に来たり給うた』。

15 凡ての者に対して審判をなし、且つ不敬虔によって犯した凡ての不敬虔な行跡の故に、また不敬虔な罪人達が彼に対して発した凡ての不遜(な言)の故に、不敬虔な凡ての人達に罰を加えるためである、と。

16 この人達は運命に眩く不平家であり、情慾に従って歩き、その口は横柄を語り、利益のために人に諂^{へつら}う。」と、先ず、ユダは語っています。

◇14節；「**アダムから七代目のエノクが預言して言った**」、「**主はその聖なる千万の軍勢と共に来たり給うた**」と、ユダは、**外典のエノク書**から引用して、**偽教師など「不敬虔ἀσεβής」**な人々を裁くために来臨されたと語ろうとしているのです。

⇒**外典のエノク書**は、キリスト教大事典によれば、108章にも及ぶ大書で、ヘブル語やアラム語で書かれていたようですが、現存しているのは、エチオピア語のもので、ギリシヤ語、ラテン語の断片も残っていて、**ユダの時代**には、幅広く読まれていたようです。

⇒旧約聖書続編に、**外典のエノク書**は含まれていません。

⇒当時教会を**神信仰から神なき肉欲生活**へと、誘惑した「**不敬虔ἀσεβής**」な**偽教師の教え**は、**神(メシヤ)、神の御子イエス・キリスト様の喜ぶ教え**ではなかったことを、ユダは、**外典のエノク書**を引用して、語っているのです。

◇15～16節；「**不敬虔ἀσεβής**」な**偽教師**は、不平不満、情欲生活、横柄なことばを用いて、**神と人に語り、自己利益のため諂う**のです。

◆ ユダ全1章17～19節；ユダは、神の御子の使徒たちの警告のことばを思出せと、語る。

◇ 17～19節；塚本訳◆新約の使徒たちも預言せり

「17 しかし愛する者よ、君達は私達の主イエス・キリストの使徒達が前以て言った言を思い出せ。

18 すなわち「末の世に自分の不敬虔な情慾に従って歩く嘲弄者が起こる」と君達に言った(ではないか。)

19 この人達は(人間を)区別し、(自分達だけが霊の者であると言いながら、実は自分こそ)霊を持たない肉の者である」と、ユダは語っています。

◇ 17～19節；「君達は私達の主イエス・キリストの使徒達が前以て言った言を思い出せ」と命じ、その理由を「末の世に自分の不敬虔な情慾に従って歩く嘲弄者が起こると君達に言った(ではないか)」、「この人達は(人間を)区別し、(自分達だけが霊の者であると言いながら、実は自分こそ)霊を持たない肉の者である」と、ユダは、偽教師の実際の姿を語る。

⇒ユダが教会の人々に語りたいのは、**偽教師**は、基本的に「**不敬虔**ἀσεβής」な者で、**神礼拝・神信仰**を生きる「**神の霊**」を持たず、「**肉欲**」に生きるのが真の姿であることに気づいて、彼らの「**神に逆らう生活**」へ誘引する罠に嵌ってほしくないということです。

⇒**偽教師**等の誘惑者は、「**神の霊**」を持たないと、**ユダ**が断定しますように、「**神の聖霊**」が証言し、**神信仰・神礼拝**に向かうように導き、**神の御子イエス・キリスト様**に、共に仕えるお方ですから、**神の御子イエス・キリスト様への愛**も、**神礼拝・神服従**にも欠落があるということです。

⇒**偽教師**等教会を分裂させる人々の本心を見抜いて、**神信仰・神礼拝**、すなわち、**神服従**を基本に生きるに**神信仰者**にとって、「**肉欲**」や「**自己利益**」優先は、**神の御子イエス・キリスト様の本質的求め**ではないことを認識しておくことが大事なのです。

⇒そうすれば、教会の中で不平不満、他己批判、自己利益優先の仲間に入ることを回避できるのです。

⇒**神礼拝者**は、**神服従の知恵**が備わっている!

結論；

- ◇**神**は、変わらない愛と思いやりの神です。
 - ◇**ユダ書**は、エルサレム教会の議長ヤコブの弟**ユダ**が、教会の人々を迷わせた**偽教師**、**偽指導者**に迷わされないよう、**警告**を与えた書簡です。
 - ◇**ユダ書全1章5～13節**は、**3～4節**の**偽教師**の**忍び込み**の提示と**神信仰**を持つての**偽教師**との**戦い**の**勧め**に対し、旧約聖書に登場した**神**に対して「**不敬虔**ἀσεβής」な人々を実例として提示して警告しています。
 - ◇**ユダ書1章14～19節**は、**偽教師**の**誘惑**と**戦う**ことを**勧めている箇所**です。最初の人、アダムから7代目のエノクが、「**不敬虔**ἀσεβής」な人々(**偽教師**)の登場を預言していたことを告げつつ、**ユダ**は、エノクのように、「**不敬虔**ἀσεβής」な人々(**偽教師**)の登場を予告し、警戒をしたように、**神の御子イエス・キリスト様のみことば**を思い出すように求めています。
- ⇒「**さばき**」は、**神の専権事項**ですが、同時に、**神の恵み**も、**神の専権事項**です。
- ⇒「**神礼拝をする**σεβομαι」に全力を注ぎたい。